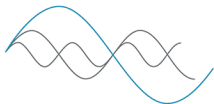


music dialogue



ミュージックダイアログ

— 室内楽を通じて
音楽家と対話する

2019 **7** **9** (TUE)



19:00開演 (18:30開場)
めぐろパーシモンホール
小ホール

全席自由

一般 4,000円 学生 2,000円 **《発売中》**

未就学児の入場はご遠慮ください

チケット取扱 めぐろパーシモンホールチケットセンター

- TEL/窓口: 03-5701-2904 (10:00-19:00)
- WEB: www.persimmon.or.jp

プログラム

- ◇ モーツァルト
弦楽五重奏曲 第2番 ハ短調 K.406
- ◇ ブラームス
ピアノ五重奏曲 ハ短調 Op.34
- ◇ 演奏者との対話



出演者

- 上田 晴子 ピアノ (パリ国立高等音楽院室内楽科教授、ピアノ科准教授)
- 水谷 晃 ヴァイオリン (東京交響楽団 コンサートマスター)
- 戸原 直 ヴァイオリン (東京芸術大学フィルハーモニア 管弦楽団コンサートマスター)
- 加藤大輔 ヴィオラ (東京フィルハーモニー交響楽団 副首席ヴィオラ奏者)
- 大山平一郎 ヴィオラ (元ロサンゼルス交響楽団 首席ヴィオラ奏者、
Music Dialogue 芸術監督)
- 笹沼 樹 チェロ (NHK交響楽団 アカデミーチェロ奏者)



主催：一般社団法人 Music Dialogue
共催：公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

お問い合わせ：
info@music-dialogue.org (Music Dialogue)

 **persimmon hall**
めぐろ

東京都目黒区八雲1-1-1
東急東横線「都立大学駅」徒歩7分
駐車場が少ないため、公共交通機関をご利用ください

Music Dialogueでは音楽の「対話」である演奏はもちろん、
お客様と演奏者の「対話」も楽しんでいただける
空間づくりにこだわっています。

日頃は「至近距離の室内楽」をお楽しみいただくために、
これまで美術館やお寺、歴史的建造物など、
ホールではないところでの演奏会を多く開催してきました。

より多くの方にこの取り組みを知っていただきたく、
団体の視点である目黒区のめぐろパーシモンホールにて
「対話」を楽しむ演奏会をお届けします。

まずは音楽の「対話」。

国内外で活躍し、現在の音楽界を牽引する
熟練の演奏家たちを中心としたメンバーによる演奏を
じっくり堪能していただけます。

その後の演奏者との「対話」の時間は、
演奏にまつわることや練習中のエピソードなど、
出演者に気軽に質問していただけるお時間となっています。
音楽による対話を楽しむだけでなく、
実際に出演者との対話を楽しめるのは
Music Dialogueならではの、ぜひお運びください。

一般社団法人Music Dialogue
HP www.music-dialogue.org
Facebook www.facebook.com/m.dialogue/



演奏後、お客様と演奏者との「対話」の様子。

music dialogue



上田 晴子・ピアノ

パリ国立高等音楽院室内楽科助教授、ピアノ科准教授。東京芸術大学大学院修了。1986年、ロン・ティボーコンクール入賞。ソリスト、室内楽演奏者として演奏活動を行う。共演する演奏家は、J.J.カントロフ、A・デュメイ、S・ルセフ(vn)など。録音は、ALMよりカントロフとのレコード「藝術振替選の『ドホナニ、エネスコ・ヴァイオリンソナタ集』『エネスコ、ブゾーニ・ヴァイオリンソナタ』『ベートーヴェン・ヴァイオリンソナタ全曲集』」など多数。2019年2月に短路市文化芸術賞受賞。

水谷 晃・ヴァイオリン

大分市生まれ。桐朋学園大学を首席で卒業。ヴァイオリンを小林健次氏、室内楽を原田幸一郎・毛利伯郎の各氏と東京クワルテットに師事。在学中Verus String Quartetを結成し、第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で第三位入賞。2010年4月より国内最年少のコンサートマスターとして群馬交響楽団コンサートマスターに就任。2013年4月より東京交響楽団コンサートマスター。2018年6月よりオーケストラアンサンブル金沢客員コンサートマスターを兼任。桐朋学園大学非常勤講師。



戸原 直・ヴァイオリン

2012年第17回コンセル・マロニエ21楽器部門第1位。2016年バング国際弦楽四重奏コンクール(BISQC)にてCareer Development Awardsを受賞。東京・春・音楽祭、チンパーミュージック・ガーデン(サントリーホール)などに出演。これまでにヴァイオリンを齋藤真知重、漆原朝子、漆原啓子、徳永二男、玉井葉採、堀正文の各氏に師事。現在、藝大フルハーモニオ管弦楽団コンサートマスター、紀尾井ホール室内管弦楽団、アンサンブルoffウキョウ、Ensemble FOVEのメンバー。



大山平一郎・ヴァイオリン

Music Dialogue芸術監督、チャンネル ビグマリオンデイズ 室内楽シリーズ アーティストック・ディレクター。1979年にジュリー二重奏のロサンゼルス交響楽団の首席ヴァイオリン奏者に任命され、その後、同楽団の副指揮者も務める。九州交響楽団の常任指揮者、大阪交響楽団の首席指揮者等を歴任。室内楽の分野では、サンタフェ室内楽音楽祭やウホイヤ・サマーフェスト、なごさき音楽祭などで芸術監督をつとめた。2008年に文化庁「芸術祭優秀賞」、2014年にサンタバーバラ市の「文化功労賞」を受賞。

加藤大輔・ヴァイオリン

2004年洗足音楽大学を首席で卒業。優秀賞を受賞。第74回読売新人演奏会に出演。ヴァイオリンを加藤晃、武生直子、岡田伸夫の各氏に、室内楽を木越洋、岡田伸夫の両氏に師事。群馬交響楽団を経て、現在、東京フィルハーモニー交響楽団副首席ヴァイオリン奏者。



笹沼 樹・チェロ

ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門第3位、特別賞をはじめとする受賞歴を持つ。桐朋学園大学ソリストディプロマコース、並びに学習院大学文学部独文科卒業。2017年学習院文化活動賞を受賞し、同校で天皇皇后両陛下をお迎えしたの天覧公演となったリサイタルシリーズは毎年開催されている。CHANELビグマリオンアーティスト。デビューアルバム「親愛の音楽」(日本コロムビア)はレコード芸術特選賞を獲得するなど、話題を呼んでいる。使用楽器は1771年製 C.F.Landolfi(宗次コレクション)。



オフィシャルサイト www.sasanumatatsuki.com